

伊丹万作 脚本家として時代劇に新風をもたらし、知性派の監督として「日本のルネ・クレール」と呼ばれた。

いたみまんさく

♪♫**7**国産化・1900 = 愛媛県松山市で、官吏池内義行・キクヨの長男に生まれる。本名は池内義豊。後に2人の妹が産まれる。

日露戦争終・1905 = 5歳：

満鉄発足・1906 = 6歳：松山第一尋常小学校に入学、神戸新開地の掛小屋で初めて活動写真を見る。

伊藤博文暗殺1909 = **9歳**：

明治天皇没・1912 = 12歳：愛媛県松山中学校に入学。同窓の**中村草田男**、**伊藤大輔**らと**回覧雑誌(楽天)**を作り、口絵や挿絵を描く。

ロシア革命・1917 = 17歳：卒業。美術の道を志望するが、反対する父に連れられ樺太に渡るが、父の商売が失敗したため帰郷。叔父を頼って上京し、彼の務める鉄道院に勤務しながら、洋画を独学。

本格政党内閣**1918 = 18歳**：退職し、**少年向け雑誌(少年世界)**の小説の挿絵を描いてデビュー。別名で漫画も掲載している。

ハルビン条約・1919 = 19歳：水田豊平のペンネームで(中学生)の挿絵も描く。

大暴落・1920 = 20歳：新刊の{新青年}{女学生}も担当。_(松竹)が始めたキネマ俳優学校の研究生募集に、伊藤大輔に応募することを勧め、

原敬首相暗殺1921 = 21歳：補充兵として広島野砲連隊に3ヶ月間入営。_伊藤は試験にパスし、キネマ俳優学校の生徒となる。

水平社結成・1922 = 22歳：演習召集を受けて三週間ほど服役。この頃、2人でしきりに映画を見て歩く。松山に帰省して、絵を学び、

関東大震災・1923 = 23歳：関東大震災後に、再び上京。

治安維持法・1925 = 25歳：中村草田男らと回覧雑誌(楽天)を作り、絵画・随筆・評論を発表。_芸術性を追求して、挿絵から退き、

円本時代始・1926 = 26歳：松山に帰郷して仲間とおでん屋(瓢太郎)を開店、始めは繁盛したがすぐに経営悪化、

金融恐慌・1927 = **27歳**：借金を残して閉店。油彩画「市河夫妻之像」が岸田劉生の目に留まって激賞されるも、_画家の道も断念。京都にいた伊藤大輔の食客となり。彼のすすめで映画脚本を書くようになる。奈良に設立された{谷崎十部プロダクション}に入り、脚本「草鞋」を書き、仲間の台湾巡業に同行して、俳優として舞台に立つ。

共産党事件・1928 = 28歳：*_帰国すると、設立された{片岡千恵蔵プロダクション}に脚本家兼助監督として入社、同プロ第1回作品の稲垣浩監督「天下太平記」の脚本を、伊藤大輔の命名による伊丹万作の名で、執筆。「草鞋」を映画化した「仇討流転」で監督デビューするが、病気療養のため松山へ移り、「絵本武者修行」「金忠輔」のシナリオを執筆。

世界恐慌・1929 = 29歳：「絵本武者修行」は稲垣浩が代って監督となり完成、以来、伊丹脚本、稲垣監督のコンビが確立。

海軍軍縮条約1930 = 30歳：結婚。_監督復帰し、「春風の彼方へ」「源氏小僧出現」「逃げ行く小伝次」を発表。

満洲事変・1931 = 31歳：「金の力太郎」「花火」を監督。_林不忘原作の「刀傷未遂」を「元禄十三年」と改題して脚色、病気のため、本作も稲垣が代わりに監督して完成させる。

五一五事件・1932 = 32歳：*_伊勢野重任原作の「国士無双」を監督、知的で諧謔に満ちたユーモアが注目を浴び、散文精神を作品の中に盛り込んだと絶賛され、キネマ旬報ベスト・テンに第6位でランクイン。続いて村松梢風原作の「人間飢饉」を脚色・監督した「闇討渡世」を発表するが、検閲により大幅にカットされる。

国際連盟脱退1933 = 33歳：自身初のトーキーとして「江戸ッ子神楽」の撮影を行うも、片岡千恵蔵と意見が衝突し中止。佐伯清シナリオによる「渡鳥木曾土産」を監督し、続いて山手樹一郎原作の「一年余日」を「武道大鑑」として脚色・監督。

帝人疑獄事件1934 = 34歳：_(千恵プロ)を退社して{新興キネマ}に移籍。

芥川直木賞始1935 = 35歳：{千恵プロ}に出向して「戦国奇譚 気まぐれ冠者」を脚本・監督。_自身初のトーキー「忠次売出す」を発表。

二二六事件・1936 = **36歳**：アーノルド・ファンク監督の日独合作「新しき土」で共同監督に要請され、固辞するもきかれず、務めることになるが、脚本執筆時からファンクとは意見が対立。*_{千恵プロ}の志賀直哉原作の「赤西彌太」を監督。志賀からも大絶賛され、キネマ旬報ベスト・テン第5位になる。

日中戦争始・1937 = 37歳：「新しき土」は、ファンク版(ドイツ版)と伊丹版(米英版)の異なるバージョンとなって、失敗作となった。J.O.スタヂオで金子洋文原作の「故郷」と、岡本綺堂原作の「権三と助十」を脚色・監督。J.O.スタヂオと他3社の合併で設立された_(東宝映画)東京撮影所に移籍。初の著作集「影画雑誌」出版。

健保+総動員 1938 = 38歳：「レ・ミゼラブル」を翻案した「巨人傳」を脚本・監督。_肺結核を患い、以後、監督は止めて闘病生活。

大政翼賛会・1940 = 40歳：_(東宝)を退社し、

日米開戦・1941 = 41歳：_(日活)多摩川撮影所に移籍。岩下俊「富島松五郎伝」をシナリオ「いい奴」として、再起を図るも見送られ、

・1942 = 42歳：_戦時統合による合併で{大映}所屬となる。山本有三原作の「不惜身命」は、情報局の事前脚本審査で却下。

創価学会検挙1943 = 43歳：_「いい奴」は、稲垣浩によって「無法松の一生」の題名で公開される。恩田木工原作の「木綿太平記」を執筆するも、再び情報局の事前脚本審査で却下。山口県周防大島に転地療養。

年金+総武装 1944 = 44歳：シナリオ「手をつなぐ子等」を執筆。

敗戦・1945 = **45歳**：翌年の正月映画に予定の_依田義賢原作「東海道膝栗毛」を執筆するが、GHQの検閲により不許可となる。

新憲法公布・1946 = 46歳：*_田中正造の生涯を描く構想を練っていたが、病状が悪化し、没した。

没後、稲垣浩によって「手をつなぐ子等」が映画化された。エッセイスト、映画理論家としても知られる。